

カンボジアで食事をした人たちがよく言うのは「肉、特に牛肉が硬〜い!」ということ。カンボジアでは牛乳用とか食肉用とかいう種類は殆どなくて、食されるのはもっぱら農耕や運搬用に使われるタイプの、しかも痩せ細った、見るからに可哀想な(→)感じの牛です。

それでも丈夫で繁殖力も強いみたいでローカルの牛鍋屋や焼肉屋はカンボジア中どこにいても大繁盛です!



リムさんはプノンペン空港の北のエリアで焼肉屋を経営しています。お店スペースを拡張するために当社のローンを利用してもらっています。

ちょっと日本的な感じもする赤ちゃんが目を

を引くユニークなデコレーションも見られていい雰囲気です。

大理石のテーブルの真ん中を丸くくり抜いたところに七輪をスッポリ入れてその上に焼き網を置いて豪快に焼いています。

火が強いよ〜という網の真ん中に氷を置いて火加減するというのも逆に新鮮ですね😊

でもやっぱり肉は硬くて顎が疲れましたが、一緒に食事したうちのスタッフたちは美味しい美味しいと喜んでいました。私の顎の鍛え方が足りない・・・のではないと思いますが?

奥さんは小学校の先生で、来月には初めての子どもが生まれるから頑張らないと!と元気に笑うリムさんからこちら元気をもらえました。お子さんも元気に生まれて育ってくれますように。

